4/22 朝日

新軍港建設計画で合意

日米 沖縄・浦添沖埋め立て

日米両政府は20日の日米合同委員会で、米軍那覇軍港(那覇市)に代わる沖縄県浦添市への新軍港建設に向け、同市沖合を埋め立てるマスタープランを了承しました。これを受け、防衛省が環境影響評価(アセスメント)などの手続きを進めます。

防衛省と沖縄県、那覇、浦添両市が昨年10月の協議会で、浦添ふ頭の北側海域をT字型に約49ヘクタール埋め立て、陸地と橋でつなぐ新軍港案について合意しました。

日米両政府は1974年に那覇軍港返還で合意しましたが、「移設条件付き」のため、いまだ実現していません。浦添新軍港の建設には市民の反発も強い上、実際の完成時期は見通せていません。